

目標達成計画

作成日: 令和 5年 2月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 19 20 26	家族など外部の方の出入りが減少している中で、施設内の様子を見られることが減っている。職員の意識低下が考えられる。生活を支える意識の向上が必要である。	コロナ禍において、家族や外部の方の面会、接触する機会がなくなっている中で、施設内でなれ合いにならず接遇力の向上と生活環境の乱れがないよう向上に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加を通して「コンプライアンス」「接遇」、「グループホームで生活することとは」「高齢者虐待防止」について学ぶ機会を設ける。 ・ユニット会議にて言葉使いや、生活の乱れについて話し合うことにより、居心地のいい空間になるよう取り組んでいく。 	12か月
2	25 38 48 49	コロナ感染の危惧が懸念される。活動への工夫を行いながら、生活の楽しみについて職員が意識することが望ましい。	外出活動での安全、工夫を考える。敷地内、ウッドデッキ、施設内での活動を工夫し、精神の安定を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日午後からレクリエーションを行う。 ・月1回の行事を行う。 ・行事以外に入居者の希望を聞きつつレクリエーションを計画する。 ・施設内で過ごす事が増えるため、意欲低下をひきおこさないよう工夫する。 ・車内から季節感を感じていただけるように、外の風を感じていただけるようにドライブを計画する。 	2ヶ月～
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。